

フッ化物洗口の実施について

○実施日

・毎週金曜日 8:20~8:30

○対象生徒

・フッ化物洗口を希望した生徒のみ

(希望の変更は保護者と確認のうえ、随時受け付ける)

※希望生徒数79名(平成29年5月1日現在)

※希望しない生徒は、(朝学習)

○実施場所 1学年教室

○実施回数

平成29年度 予定実施回数 35回

【年間35回程度】

月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
日	26	2・9・ 16・ 23・30	7・14・ 21	25	1・8・ 15・ 22・29	6・13・ 20・27
回	1回	4回	3回	1回	5回	4回
月	11月	12月	1月	2月	3月	月
日	10・ 17・24	1・8・ 15・22	19・26	2・9・ 16・23	2・9・ 16・23	
回	3回	4回	2回	4回	4回	回

○フッ化物洗口実施の流れ

《前日まで》

○洗口剤(オラブリス)の受領(教頭・保体部)

- ・薬局から支給
- ・受領した洗口剤(オラブリス)の数量を出納簿に記入
- ・洗口剤(オラブリス)の保管場所(場所/校長室)

《当日朝》

○洗口液の準備(教頭など)

- ・ディスペンサー付ボトルを使用し、希釈する

【例（40人分）】

- ①オラブリス9g（6g；1包、1.5g；2包）をボトルに入れる。
- ②①のボトルに500mlの水道水を入れ、ボトルを振って溶かす。
- ③校長室（職員室冷蔵庫 ※前日に作る場合）に保管する。
- ④使用した洗口剤（オラブリス）を出納簿に記入する。

※常温で1週間、冷蔵庫で2週間程度保存可

《当日》

時間／

《準備》

必要備品

- ・タイマー（又はCD）
- ・紙コップ
- ・箱ティッシュ
- ・ゴミ袋
- ・

《実施生徒健康観察》

- 各担任は実施生徒の健康観察を行う。
- ・口の中の傷や口内炎等の確認 ※水がしみる場合は、実施を控える。
- ※風邪などで鼻がつまっている生徒は実施不可

時間／

- 洗口液を運ぶ（1年団）

【洗口の実施】

- ①生徒にフッ化物入りコップ（及びティッシュ）を配付する。
※一人分は2プッシュ（10mL）
 - ②全員に配付したら1分間実施する
※やや下を向いて“ブクブクうがい”（誤飲をさけるため）
※途中でやめても可
※飲み込んでも害はないが、養護教諭に報告する。
※洗口後、30分間はできるだけ水を飲むことをひかえる。
 - ③タイマーをセットする。（又はCDの曲をかける）
 - ④（洗口中にティッシュを配付する。）
 - ⑤1分間経ったらコップへフッ化物を出し、ティッシュで口を拭いてコップに入れる。
- 終了

《後片付け》

- ・ボトルの洗浄及び保管

○必要な物品

- オラブリス
- ディスペンサー付ボトル（3本）
- 紙コップ
- ティッシュ
- ゴミ袋
- タイマー（又はCD）

《希釈時》

- マスク

○手袋

《洗浄及び消毒時》

○洗剤及び消毒液（ミルトン）

○ボトル洗浄用ブラシ

○カゴ（保管及び消毒用）